

業績予想の修正に関する 補足説明資料

2020年10月29日
株式会社エヌ・シー・エヌ

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、監査法人による会計監査前の数値であるため、2020年11月12日（木）発表予定の決算短信と異なる結果となる可能性があります。

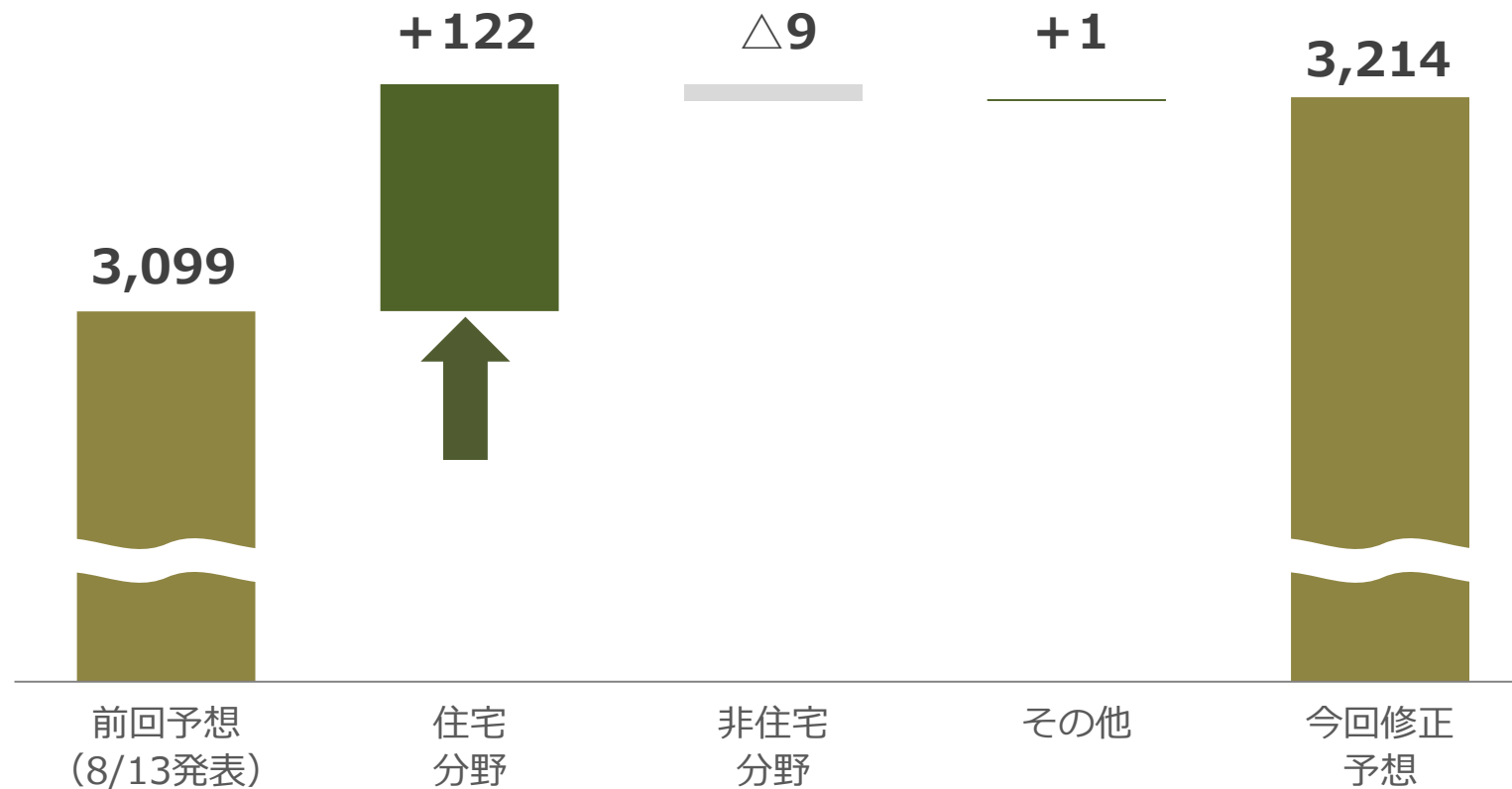
2021年3月期 上期連結業績予想の修正



(百万円)	21/3期 上期 修正予想	前回予想 (8/13発表)	対前回予想 増減	対前回予想 増減率	20/3期 上期 実績	対前期 増減	対前期 増減率
売上高	3,214	3,099	+114	+3.7%	3,306	△92	△2.8%
売上総利益	767	717	+49	+6.9%	779	△12	△1.5%
営業利益	131	69	+61	+87.7%	129	+1	+1.2%
経常利益	150	69	+81	+118.3%	144	+6	+4.3%
親会社株主に 帰属する当期 純利益	105	40	+64	+160.4%	97	+7	+8.2%

売上高の差異要因（対前回予想）

売上高が前回予想を上回った主な要因は、住宅分野が6月以降順調に推移し、想定を上回ったこと。



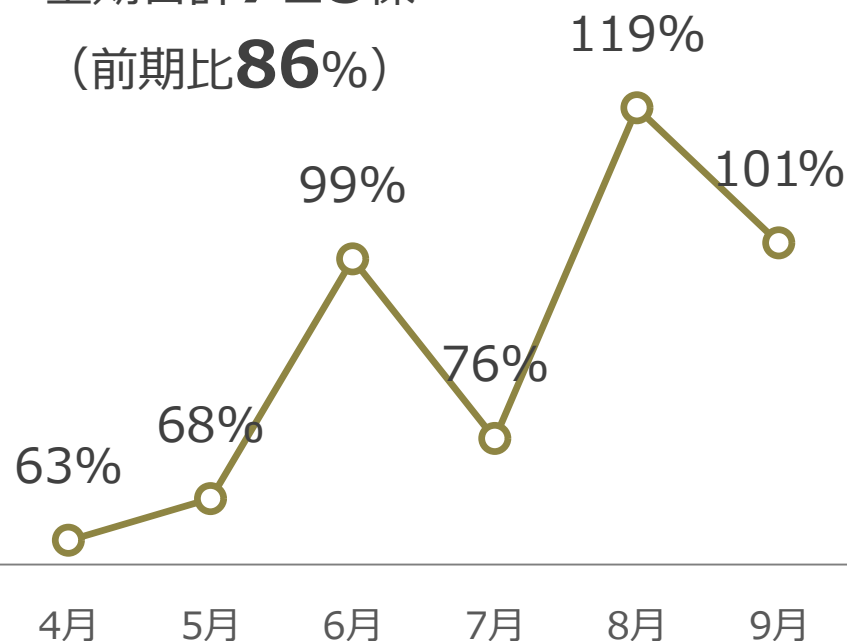
上期における新型コロナウイルスの影響

- 構造計算出荷数への影響は7月までで、8月以降は順調に回復。
- SE構法出荷数は前期比6%減を見込んでいたが同3%減にとどまり、ほぼ前年並みとなった。

構造計算出荷数の前期比推移

上期合計**728**棟

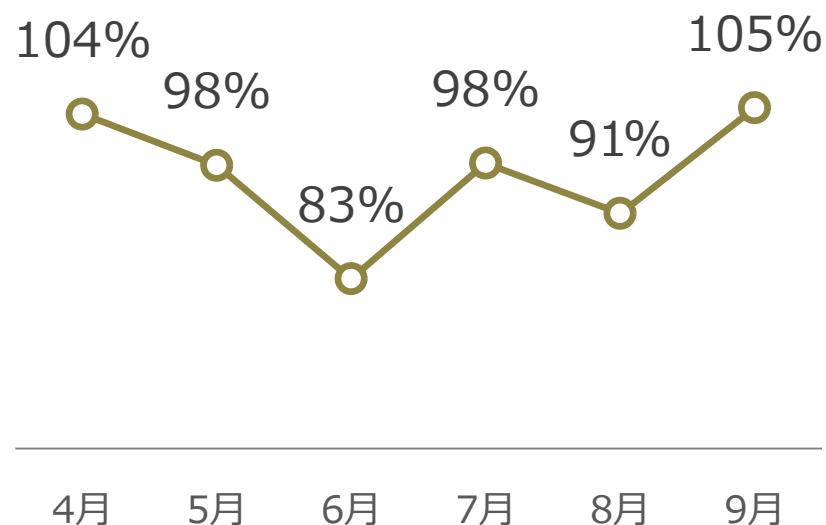
(前期比**86%**)



SE構法出荷数の前期比推移

上期合計**785**棟

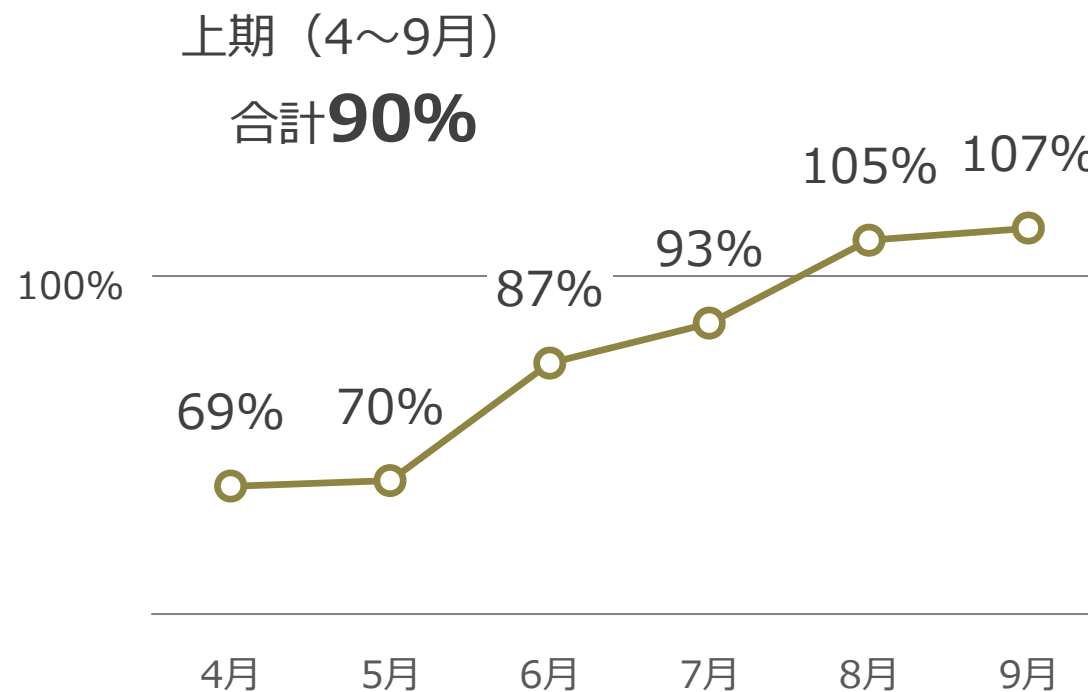
(前期比**97%**)



【参考】住宅業界の受注動向

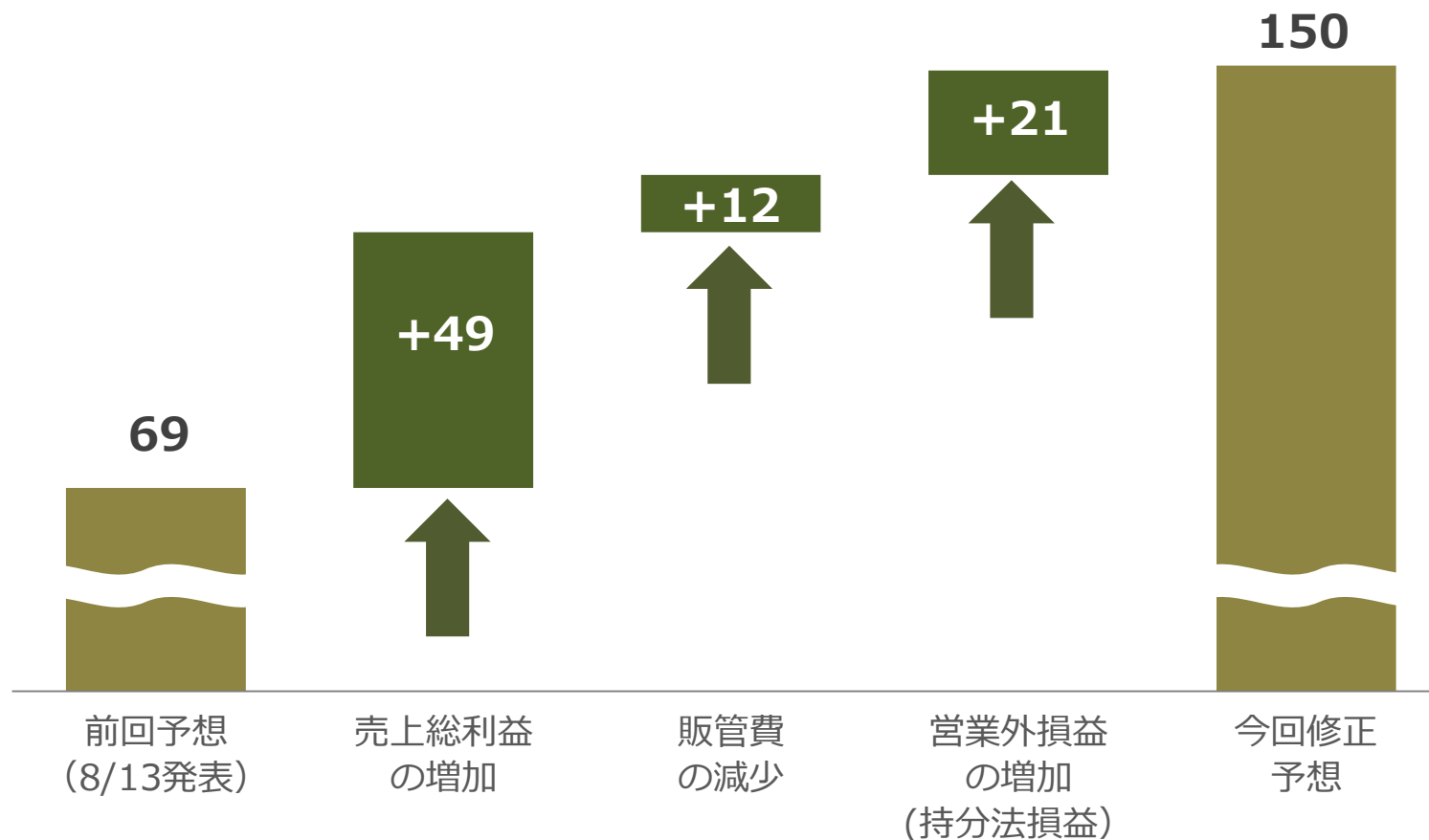
大手ハウスメーカーの受注状況も8月以降は前年を上回って推移しており、下期も回復傾向が続くことが推測される。

大手ハウスメーカー10社の受注伸率推移（棟数）



経常利益の差異要因（対前回予想）

経常利益が前回予想を上回った主な要因は、①売上高が想定を上回ったことに伴う売上総利益の上振れ、②販管費の減少、③持分法損益の上振れ。



販管費の状況（対前年同期比）



- 販管費は、新型コロナウイルス感染症の影響により営業経費が前期に比べて減少したものの、従業員給与など人件費については減額をおこなっていない。
- Webツールの活用も含め、販促・広告宣伝等の営業施策は必要に応じて適切に実行している。

(百万円)		21/3期 上期 修正予想	20/3期 上期実績	対前期 増減
販管費合計		636	650	△14
	人件費	341	322	+19
	営業経費 (旅費交通費等)	23	47	△24
	販促費 広告宣伝費	71	61	+10
	その他	201	219	△18

2021年3月期 通期連結業績予想【参考】



通期の業績予想は、下期予想を精査中であるため、上期の修正のみ反映した数値としております。

配当予想と合わせて、修正が必要となった時点で速やかに開示いたします。

(百万円)	上期 修正予想	対前回予想 増減	下期予想	対前回予想 増減	通期予想 【参考】	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
売上高	3,214	+114	3,520	±0	6,734	+114	+1.7%
売上総利益	767	+49	932	±0	1,699	+49	+3.0%
営業利益	131	+61	111	±0	242	+61	+33.9%
経常利益	150	+81	121	±0	272	+81	+42.8%
親会社株主に 帰属する当期 純利益	105	+64	85	±0	190	+64	+51.7%